

昭和60年度(第13回)稲病虫害防除集団研修コース
実施要項

昭和60年6月

国際協力事業団(JICA)
兵庫インターナショナルセンター(HIC)
〒654 神戸市須磨区一ノ谷町4丁目5番地
電話:神戸 078(734)5175・5176

H I C
J R
85—2

JICA
000
841
TSC
LIBRARY

国際協力事業団	
受入 月日 '85.11.18	000
	84.
登録No. 12086	TSC

目 次

1. 集団研修コース名・期間・定員	1
2. コースの目的・背景	1
3. 到達目標	1
4. 研修項目・研修方法	1
5. 研修員参加資格要件	2
6. 研修実施体制および運営	2
7. 研修施設・宿泊施設	3
8. 研修教材・資機材	3
9. 研修付帯プログラム	3
10. 研修の評価	3
11. 昭和60年度応募・選考状況	4

JICA LIBRARY



1009091[8]

[参考資料]

付 - 1

研修員名簿	3～4
研修実施日程	5～18

付 - 2

研修関係機関及び関係者リスト	
Ⅰ 研修実施関係機関一覧表	21
Ⅱ 講義・実習の講師及び指導官一覧表	23～30
Ⅲ 見学機関(施設)一覧表	31

付 - 3

国別研修員参加実績表	35
------------------	----

昭和60年度稲病虫害防除コース

実施要領

1. コース名等

イ. 和文：稲病虫害防除

英文：Control of Rice Diseases and Insect Pests

ロ. 研修期間：自 昭和60年5月30日
(6.5ヶ月)
至 昭和60年12月10日

ハ. 定員：12名

2. コースの目的・背景

イ. 目的：開発途上国、特に食糧問題をかかえる諸国において、農業普及に携わる技術者を対象として実施し、参加諸国の稲病虫害防除技術の近代化と向上に貢献できる人材の育成を目的とする。

ロ. 設定年度：昭和48年度

経緯：農林水産省・兵庫県及び神戸大学農学部と協議し、当時の神戸大学農学部主任教授 鈴木直治氏にコースリーダーを委嘱して開設された。

3. 到達目標：研修員が主として国公立農業試験研究機関の中堅職員であるので、帰国後、適切な研究ならびに改良普及員の指導が行えることを目標とする。

4. 研修項目：① 専門オリエンテーション 日本の農業と問題点等

② 稲作概説

③ 病虫害概説

④ 病害各論

⑤ 虫害各論

⑥ 農薬及びその散布法

⑦ 実験（農薬の分析、害虫の同定、病原菌の分離）

研修指導方法：①講義 ②現場実習 ③室内実験 ④見学 ⑤討論

⑥研修・視察旅行

5. 研修員の参加資格要件

- イ. 応募条件：① 本国政府により推薦された者
② 大学において、農学・昆虫学又は植物病理学を専攻した者および同等の学力を有する者
③ 農業技術の普及において、稲病虫害防除に関し、3年以上の経験を有する者
④ 年齢35才未満の者
⑤ 英語を自由に駆使する能力のある者
⑥ 7ヶ月間の研修に耐えうる健康体の者

ロ. 人選方法および選考基準：コースリーダー、兵庫県農業試験場、神戸大学農学部・当センター関係者の協議により、上記イの条件を満たす者を選考基準に、1ヶ国1名を原則として選考する。

ハ. 割当国：

アジア地域：バングラデシュ、ビルマ、インド、マレーシア、パキスタン
フィリピン、スリランカ、タイ（計8ヶ国）

中近東アフリカ地域：エジプト、イラン、スーダン、モロッコ、リベリア
（計5ヶ国）

中南米地域：ボリヴィア（1ヶ国）

オセアニア地域：フィジー、バブアニューギニア（計2ヶ国）

合計16ヶ国

6. 研修実施体制及び運営

イ. コース運営の仕組：コースリーダーと協議して研修実施カリキュラムを策定し、夫々の研修項目（分野）に権威ある講師、指導官を選定して、各関係機関長宛委託業務申請書（農林水産省の機関）又は、依頼公文書を当センターから発信する。
兵庫県農業総合センターにおける実習については、県知

事と総裁との委託契約を締結する。また、神戸大学農学部における実習は、文部省学術国際局へ申請して承認を得た上で総裁から学長へ研修依頼公信が発信される。

ロ. コース・リーダー： ㊦ 無

研修監理員： ㊦ 無

ハ. 方 式： 直轄（一部実習を委託）

7. 研修施設

主要受入先：① 兵庫県農業総合センター

② 神戸大学農学部

宿 舎：兵庫インターナショナルセンター

8. 研修教材：① Rice Protection in Japan Vol. I II III

②参考書 ③学会誌 ④スライド ⑤フィルム

資 機 材：農業分析機器、顕微鏡、スライドプロジェクター

映写機（8mm, 16mm） OHP

9. 研修付帯プログラム

イ. 集合ブリーフィング： ㊦ 無（於 TIC）

オリエンテーション： ㊦ 無（ ）

ロ. 日本語集中講義： ㊦ 無（於当センター：神戸YWCAに委託・
3名の講師が派遣される）

目 標：特に日常生活面において、基本的な日本語会話をほぼ行えるようになることを目標とする。

時 間 数：100H

10. 研修の評価

評価の方法：① 最終評価会において、コースリーダー、兵庫県農業試験場
病虫害部職員を交えて総合討論を行い、今後の研修課題について
研修員の希望、助言を聴取する。

② 所定の Final Report (Evaluation Sheet を含む) によりコース
全体の成果、感想、提案等を求めて、「研修内容評価集計表」

と「改善調査調書」を作成して次年度の内容に反映させる。

11. 応募と人選状況：割当は16ヶ国に対して各国1名であるが、1ヶ国から3名応募してきた国もあり、選考の結果、下記のように定員12名の受入を決定した。

割 当 国	応 募 人 員	受 入 決 定 数
バングラデシュ	0	0
ピルマ	1	1
インド	2	2
マレーシア	1	1
パキスタン	2	締切期限遅れのため不可
フィリピン	3	1
スリランカ	1	1
タイ	2	2
エジプト	2	1
イラン	1	1
モロッコ	1	0
スーダン	0	0
リベリア	1	1
ボリヴィア	2	1
フィジー	1	締切期限遅れのため不可
パプア・ニューギニア	1	同 上 不可
合 計	21	12

付一1

研 修 員 名 簿

研 修 実 施 日 程

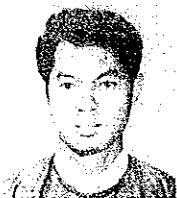





国際協力事業団 (JICA)

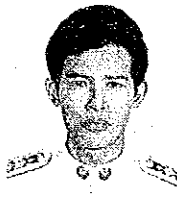





兵庫インターナショナルセンター(HIC)
〒654 神戸市須磨区一の谷町4-5-10
電話：神戸 (078) 734-5175

昭和60年度 第13回稲病害虫防除集団研修コース 研修員名簿

(昭和60年5月30日～12月10日)

コースリーダー：鈴木直治
担 当：野福文徳
コーディネーター：西面文子

Picture	Name & Designation	Office Address
	U THEIN AUNG ティアン 41才 農林省 農業公社地方監督官補 ビルマ	C/O State Manager Agriculture Corporation Shan State Taunggyi BURMA
	Dr. PESALADINNE CHAKRAPANI REDDY レディー 32才 インド農業研究協議会 稲病害虫防 除実施プロジェクト 植物病理学者 インド	Directorate of Rice Research (O.R.P.), 11-3-43, Chenchupet, Tenali 522 202 Guntur District, Andhra Pradesh, INDIA
	Mrs. JAGADISWARI RAO ラオ 36才 中央稲研究所 昆虫学者 インド	Central Rice Research Institute Cuttack-753006 Orissa INDIA
	Mr. CHE KHALID BIN HAJI SAAD カリッド 28才 каранタン農業開発局 農業担当官 マレーシア (豚肉不可)	Kemubu Agriculture Development Authority (KADA), P.O. Box 127, Kota Bharu, Kelantan, MALAYSIA
	Mr. MANUEL ORENCIA OLANDAY オランダイ 26才 農業食糧省 病害虫防除担当官 フィリピン	Regional Crop Protection Centre Ministry of Agriculture & Food VES, Hamungaya, Jaro, Iloilo City PHILIPPINES
	Mr. THUSAYA HAWAGE SOMADASA ソマダス 32才 スリランカ農業学校農学部 中級技 術者教官 スリランカ	Sri Lanka School of Agriculture, Department of Agriculture, Angunukolapellassa, SRI LANKA

Picture	Name & Designation	Office Address
	Mr. ANAN HIRUNSALEE アナン 31才 コンケン大学農学部講師 タイ	Department of Entomology & Plant Pathology Faculty of Agriculture, Khon Kaen University Khon Kaen 40002, THAILAND
	Mr. KASEM SOONTRAJARN カセム 26才 農業省 植物病理学, 微生物学部 稲病 理学課 植物病理学者 タイ	Rice Pathology Section, Division of Plant Pathology and Microbiology Department of Agriculture Bangkok 10900 THAILAND
	Mr. Abd EL-Fattah Abd EL Hai Abd EL-Fattah ファター 31才 農業省 稲作機械化センター職員 エジプト (豚肉不可)	Rice Mechanization Centre Meet EL-Dyha-Kafer EL-Shiek EGYPT
	Mr. ASKARI KHARRAT ハラット 38才 農業省 ガエムシャハール農業事務所 植物防疫専門官 イラン	Mr. Mehmannaavaz Agriculture Office Ghaemshahr, IRAN
	Mr. SAMUEL DIAWO ENSAH エンサー 26才 農業省 農業普及官 リベリア	Ministry of Agriculture, Regional & Extension Department P.O.Box 9010 Monrovia LIBERIA
	Mr. MEALLA CESAR RODOLFO メアリアー 31才 ボリヴィア農業技術研究所技師 ボリヴィア	Bolivian Institute of Agricultural Technology (IBTA), Post Box No3299 Cochabamba BOLIVIA

月/日	曜日	研 修 項 目	研修指導機関	講 師	研 修 実施場所
5/16	木				
17	金				
18	土				
19	日				
20	月				
21	火				
22	水				
23	木				
24	金				
25	土				
26	日				
27	月				
28	火				
29	水				
30	木	研修員来日			
31	金				

月/日	曜日	研修項目	研修指導機関	講師	研修実施場所
6/1	土				
2	日				
3	月	オリエンテーション			TIC
4	火	〃			〃
5	水	〃			〃
6	木	〃			〃
7	金	〃			〃
8	土				
9	日				
10	月	農林省専門 オリエンテーション	農林水産省		農水省
11	火	東京→神戸			
12	水	HICブリーフィング 外人登録			HIC
13	木	日本語集中講座 兵庫県庁表敬訪問	神戸YWCA		〃
14	金	日本語集中講座	〃	佐名入 藤波 純子 佐 須美 子 礼 文	〃
15	土	〃	〃		〃

月/日	曜日	研 修 項 目	研修指導機関	講 師	研 修 実施場所
6/16	日				
17	月	研修指導機関表敬訪問	兵庫県農業 総合センター		明石
18	火	日本語集中講座	神戸YWCA		H I C
19	水	〃	〃		〃
20	木	〃	〃		〃
21	金	実習：苗の準備と移植	兵庫県農業 総合センター	山 根 国 男	明石
22	土	日本語集中講座	神戸YWCA		H I C
23	日				
24	月	日本語集中講座	神戸YWCA		H I C
25	火	〃	〃		〃
26	水	〃	〃		〃
27	木	〃	〃		〃
28	金	〃	〃		〃
29	土	〃	〃		〃
30	日				

月/日	曜日	研 修 項 目	研修指導機関	講 師	研 修 実施場所
7/1	月	講：日本農業の現状	兵庫県農業 総合センター	藤 村 良	H I C
2	火	講：稲病害虫防除概説	コースリーダー	鈴 木 直 治	〃
3	水	講：稲の生理	野菜試験場	太 田 保 夫	〃
4	木	講：世界の米事情	農業生物資源 研 究 所	富 田 豊 雄	〃
5	金	講： 〃	〃	〃	〃
6	土				
7	日				
8	月	講：日本の主要病害	兵庫県農業 総合センター	神 納 浄	H I C
9	火	講：日本の主要害虫	〃	藤 本 清	〃
10	水	講：稲白葉枯病	中国農試	江 塚 昭 典	〃
11	木	講：主要病害虫の 発生予察(1)	全国農村教育 協 会	山 口 福 男	〃
12	金	講： 〃 (2)	兵庫県農業 総合センター	松 尾 綾 男	〃
13	土				
14	日				
15	月	講：日本の稲栽培	兵庫県農業 総合センター	山 根 国 男	H I C

月/日	曜日	研 修 項 目	研修指導機関	講 師	研 修 実施場所
7/16	火	講：主要病害虫の 発生予察(3)	兵庫県農業 総合センター	山 根 伸 夫	H I C
17	水	講：病害防除概説	神 戸 大 学	宮 本 雄 一	〃
18	木	講：稲紋枯病	中 国 農 試	堀 真 雄	〃
19	金	講：いもち病の疫学	農 業 研 究 セ ン タ ー	加 藤 肇	〃
20	土				
21	日				
22	月	講：セジロウンカ トビイロウンカ (1)	三 重 大 学	岸 本 良 一	H I C
23	火	講： 〃 (2)	〃	〃	〃
24	水	講：防除機械	神 戸 大 学	西 村 功	〃
25	木	講： 〃	〃	〃	〃
26	金	講：昆虫の殺虫剤抵抗性	名 古 屋 大 学	斉 藤 哲 夫	〃
27	土				
28	日				
29	月	実習：害虫の薬抵抗性 検定	兵庫県農業 総合センター	河 野 哲	明石
30	火	実習： 〃	〃	〃	〃
31	水	実習： 〃	〃	〃	〃

月/日	曜日	研修項目	研修指導機関	講師	研修実施場所
8/1	木	実習：ツトムシ、紋枯病 防除薬剤散布	兵庫県農業 総合センター	足立年一	明石
2	金	講：雑草の総合防除	神戸大学	松中昭一	HIC
3	土				
4	日				
5	月	実験：農薬実験 (1)	神戸大学	松切中 中貫田 昭武代 昌司仲	神戸大学
6	火	実験：〃 (1)	〃	〃	〃
7	水	実験：〃 (1)	〃	〃	〃
8	木	実験：〃 (2)	〃	〃	〃
9	金	実験：〃 (2)	〃	〃	〃
10	土	実験：〃 (2)	〃	〃	〃
11	日				
12	月	講：害虫防除概説	神戸大学	桃井節也	HIC
13	火	カントリーレポート	コースリーダー	鈴木直治	〃
14	水	〃	〃	〃	〃
15	木	夏季休暇			

月/日	曜日	研修項目	研修指導機関	講師	研修実施場所
8/16	金	夏季休暇			
17	土				
18	日				
19	月	実習：ツトムシ、紋枯病 薬剤防除効果調査	兵庫県農業 総合センター	足立年一	明石
20	火	実験：害虫の同定	神戸大学	桃井節也 他	神戸大学
21	水	実験：農薬実験 (3)	〃	松中昭一 他	〃
22	木	実験： 〃 (3)	〃	〃	〃
23	金	実験： 〃 (3)	〃	〃	〃
24	土				
25	日				
26	月	講：稲用農薬	コースリーダー	鈴木直治	HIC
27	火	実験：農薬散布機械	神戸大学	西村 功	神戸大学
28	水	実験： 〃	〃	〃	〃
29	木	実験： 〃	〃	〃	〃
30	金	講：水田における 窒素循環	兵庫県農業 総合センター	吉倉 惇一郎	HIC
31	土				

月/日	曜日	研修項目	研修指導機関	講師	研修実施場所
9/1	日				
2	月	筑波方面研修旅行	農研センター		
3	火	↓	環境技術研		
4	水	↓	熱研センター		
5	木	↓	生物資源研		
6	金	↓			
7	土				
8	日				
9	月	実習：稲白葉枯病 室内実験	兵庫県農業 総合センター	入江和己	明石
10	火	実習：〃	〃	〃	〃
11	水	実習：〃	〃	〃	〃
12	木	実習：〃	〃	〃	〃
13	金	講：稲菌核病	茶業試験場	鬼木正臣	HIC
14	土				
15	日	祝 日			

月/日	曜日	研修項目	研修指導機関	講師	研修実施場所
5/16	月	振替休日			
17	火	実習：病原菌分離培養	兵庫県農業 総合センター	神坂 納本 浄庵	明石
18	水	実習：〃	〃	〃	〃
19	木	実習：害虫の同定	〃	広瀬 敏晴 今井 貴	〃
20	金	実習：〃	〃	〃	〃
21	土				
22	日				
23	月	祝日			
24	火	東北地方研修旅行			
25	水	↓	東北農試		
26	木	↓	青森県農試		
27	金	↓	りんご試験場 他		
28	土	↓			
29	日				
30	月	実験：病原菌の分離培養	兵庫県農業 総合センター	神坂 納本 浄庵	明石

月/日	曜日	研 修 項 目	研修指導機関	講 師	研 修 実施場所
10/1	火	実習：紋枯病薬効調査	兵庫県農業 総合センター	坂 本 庵	明石
2	水	実習：病害虫巡回調査	〃	広 瀬 敏 晴	淡路
3	木	予 備 日			
4	金	講：昆虫の不妊化	名古屋大学	伊 藤 嘉 昭	H I C
5	土				
6	日				
7	月	講：農薬の空中散布	農林航空協会	山 元 四 郎	H I C
8	火	講：稲穂枯病	環境技術研	大 畑 貫 一	〃
9	水	講：主要病害虫の 発生予察(4)	兵庫県農業 総合センター	松 尾 綾 男	〃
10	木	祝 日			
11	金	講：稲用農薬	コースリーダー	鈴 木 直 治	H I C
12	土				
13	日				
14	月	沖縄方面研修旅行			
15	火	↓			

月/日	曜日	研修項目	研修指導機関	講師	研修実施場所
10/16	水	沖縄方面研修旅行			
17	木	↓			
18	金	↓			
19	土				
20	日				
21	月	予備日			
22	火	講：水田の雑草防除	兵庫県農業 総合センター	山根国男	HIC
23	水	見学：ライスセンター他	〃	〃	三田
24	木	講：主要病害虫の 発生予察(5)	〃	山根伸夫	HIC
25	金	講：昆虫生理のカレント トピックス	林業試験場	三橋 淳	〃
26	土				
27	日				
28	月	微生物殺虫剤	九州大学	鮎沢啓夫	HIC
29	火	講：熱帯の害虫	環境技術研 究所	服部伊楚子	〃
30	水	講：線虫	農業研 究セン ター	大島康臣	〃
31	木	講：稲のウイルス病	九州農試	新海 昭	〃

月/日	曜日	研修項目	研修指導機関	講師	研修実施場所
11/1	金	講：ニカメイチュウ	筑波国際農業 研修センター	阿部 登	HIC
2	土				
3	日	祝 日			
4	月	振替休日			
5	火	講：稲のウイルス	農 業 研 究 セ ン タ ー	大村敏博	HIC
6	水	講：鳥害と対策	〃	中村和雄	〃
7	木	見学：有光工業(株)			奈良
8	金	講：国際検疫	神 植 物 防 疫 所 戸	松原芳久	HIC
9	土				
10	日				
11	月	講：稲ウイルス媒介昆虫 と防除	環 境 技 術 研 究 所	桐谷圭治	HIC
12	火	講：害虫の総合防除	〃	〃	〃
13	水	講： 〃	〃	〃	〃
14	木	講：国内検疫	神 植 物 防 疫 所 戸	木村伸司	〃
15	金	講：昆虫の密度測定	京 都 大 学	久野英二	〃

月/日	曜日	研修項目	研修指導機関	講師	研修実施場所
11/16	土				
17	日				
18	月	見学：ヤンマー農機(株)			滋賀
19	火	講：貯穀害虫	岡山大学	吉田敏治	HIC
20	水	見学：ダイハツ工業(株)			大阪
21	木	講：昆虫生理活性物質	京都大学	高橋正三	HIC
22	金	講：いもち菌レース	北陸農試	山田昌雄	〃
23	土	祝 日			
24	日				
25	月	講：マイコプラズマ病	生物資源 研究所	杉浦巳代治	HIC
26	火	見学：神戸植物防疫所	神戸 植物防疫所		神戸
27	水	中国地方研修旅行			
28	木	↓			
29	金	↓			
30	土				

月/日	曜日	研修項目	研修指導機関	講師	研修実施場所
12/1	日				
2	月	予備日			
3	火	ファイナルレポート作成			
4	水	研修総括最終評価会			
5	木	閉講式			
6	金	神戸→東京			
7	土				
8	日				
9	月				
10	火	帰国日			
11	水				
12	木				
13	金				
14	土				
15	日				

付一 2

研修関係機関及び関係者リスト

- I 研修実施関係機関及び関係者リスト
- II 講義・実習の講師及び指導官一覧表
- III 見学機関(施設)一覧表

I 研修実施関係機関一覧表

機 関 名	〒	所 在 地	電 話
農林水産省経済局国際協力課	100	東京都千代田区霞ヶ関 1丁目2-1	03(502)8111
〃 農蚕園芸局 植物防疫課	100	〃	〃
文 部 省 学 術 国 際 局	100	東京都千代田区霞ヶ関 3丁目2-2	03(581)4211
神 戸 大 学 農 学 部	657	神戸市灘区六甲台町1	078(881)1212
兵 庫 県 農 林 水 産 部	650	神戸市中央区下山手通 5丁目10-1	078(341)7711
兵庫県農業総合センター 農業試験場	673	明石市北王子町13-1	078(928)3521

II 講義・実習の講師及び指導官一覧表

機 関 名	役 職	指導官・講師	研 修 項 目 ・ 講 義 テ ー マ
研修指導者 (コースリーダー) 〒655 神戸市垂水区向陽2-5-19 ☎078(707)6304	農 学 博 士	鈴 木 直 治	稲病虫害防除概説 稲用農薬
兵庫県農業総合センター 農業試験場 〒673 明石市北王子町13-1 ☎078(928)3521	所 長	藤 村 良	日本農業の現状
	病 虫 部 長	山 根 伸 夫	主要病虫害の発生予察
	病 虫 部 次 長	神 納 淨	病原菌の分離培養, 日本の主要病害
	主 任 研 究 員	坂 本 庵	紋枯病薬効調査, 病原菌の分離培養
	〃	今 井 国 貴	害虫の同定
	〃	入 江 和 巳	稲白葉枯病室内実験
	〃	足 立 年 一	ツトムシ, 紋枯病防除薬剤散布, 同効果調査
	〃	河 野 哲	害虫の薬剤抵抗性検定
	〃	広 瀬 敏 晴	害虫の同定, 病虫害巡回調査
	化 学 部 長	松 尾 綾 男	主要害虫の発生予察
	主 任 研 究 員	吉 倉 惇 一 郎	水田における窒素循環
酒 米 試 験 地 〒673-14 兵庫県加東郡社町沢部591-1 ☎07954(2)1036	主 任 研 究 員	山 根 国 男	苗の準備と移植, 日本の稲栽培, 水田の雑草防除
経 営 実 験 場 〒673-03 神戸市垂水区神出町小東野30 ☎078(965)0014	主 任 専 門 技 術 員	藤 本 清	日本の主要害虫

機 関 名	役 職	指 導 官 ・ 講 師	研 修 項 目 ・ 講 義 テ ー マ
神戸大学 農学部 〒657 神戸市灘区六甲台町1 ☎078(881)1212	教 授 教 授 教 授 教 授 助 教 授 講 師 助 手 助 手	松 中 昭 一 宮 本 雄 一 西 村 功 桃 井 節 也 内 藤 親 彦 切 貫 武 代 司 中 田 昌 伸 竹 田 真 木 生	雑草の総合防除, 農薬実験 病害防除概説 防除機械, 農薬散布機械 害虫防除概説, 害虫の同定 害虫の同定 農薬実験 農薬実験 害虫の同定
名古屋大学 農学部 〒464 名古屋市千種区不老町 ☎052(781)5111	教 授 助 教 授	斉 藤 哲 夫 伊 藤 嘉 昭	昆虫の殺虫剤抵抗性 昆虫の不妊化
京都大学 農学部 〒606 京都市左京区北白川追分町 ☎075(751)2111	教 授 教 授	久 野 英 二 高 橋 正 三	昆虫の密度測定 昆虫の生理活性物質
三重大学 農学部 〒514 津市上浜町1515 ☎0592(32)1211	教 授	岸 本 良 一	セジロウンカ, トビイロウンカ
(社)農林水産航空協会 〒100 東京都千代田区永田町1丁目11-35 ☎03(580)2631	技 術 セ ン タ ー 長 所	山 元 四 郎	農薬の空中散布

機 関 名	役 職	指導官・講師	研修項目・講義テーマ
岡山大学 農学部 〒770 岡山市津島中1-1-1 ☎0862(52)1127	教 授	吉 田 敏 治	貯穀害虫
九州大学 農学部 〒812 福岡市東区箱崎6丁目10-1 ☎092(641)1101	教 授	鮎 沢 啓 夫	微生物殺虫剤
農林水産省農業研究センター 〒305 茨城県筑波郡谷田部町観音台3丁目1-1 ☎02975(6)8481	水田病害研究室 鳥害研究室長 線虫害研究室長 ウイルス病 防除研究室	加 藤 肇 中 村 和 雄 大 島 康 臣 大 村 敏 博	いもち病の疫学 鳥害と対策 線 虫 稲のウイルス病
農林水産省農業生物資源研究所 〒305 茨城県筑波郡谷田部町観音台2丁目1-2 ☎02975(6)7406	微生物機能 利用研究室長 機能開発部機能 開発研究官	杉 浦 己代治 富 田 豊 雄	マイコプラズマ病 世界の米事情
農林水産省農業環境技術研究所 〒305 茨城県筑波郡谷田部町観音台3丁目1-1 ☎02975(6)8148	昆虫管理課長 微生物管理課長 昆 虫 分 類 研 究 室 長	桐 谷 圭 治 大 畑 貫 一 服 部 伊 楚 子	稲ウイルス媒介昆虫と防除, 害虫の総合防除 稲穂枯病 熱帯の害虫
農林水産省 林業試験場 〒305 茨城県稲敷郡基崎町松の里1 ☎0298(73)3211	天敵微生物 研 究 室 長	三 橋 淳	昆虫生理のカレントトピックス
農林水産省野菜試験場 〒514-23 三重県安芸郡安濃町大字草生360 ☎05926(8)1331	栽 培 部 長	太 田 保 夫	稲の生理

機 関 名	役 職	指導官・講師	研修項目・講義テーマ
農林水産省 茶業試験場 〒428 静岡県榛原郡金谷町金谷2769 ☎05474(5)4101	病害研究室 主任研究官	鬼木正臣	稲菌核病
農林水産省中国農業試験場 〒721 福山市西深津町450 ☎0849(23)4100	環境部長 病害第2室長	江塚昭典 堀真雄	稲白葉枯病 稲紋枯病
農林水産省北陸農業試験場 〒943-01 上越市稲田1-2-1 ☎0255(23)4131	環境部長	山田昌雄	いもち菌レース
農林水産省九州農業試験場 〒833 筑後市大字和泉 ☎09425(2)3101	病害第2室長	新海昭	稲のウイルス病
農林水産省神戸植物防疫所 〒651 神戸市中央区小野浜町1-4 ☎078(331)1350	国内課長 国際第一課長	木村伸司 松原芳久	国内検疫 国際検疫
筑波国際農業研究センター 〒305 茨城県筑波郡谷田部町高野台3-7 ☎02975(6)1771	研修指導者	阿部登	ニカメイチュウ
全国農村教育協会 〒654 神戸市須磨区桜木町2丁目1-23 ☎078(733)4353		山口福男	主要病害虫の発生予察

Ⅲ 見学機関（施設）一覽表

機 関 名	〒	所 在 地	電 話
農林水産省農業環境技術 研究所	305	茨城県筑波郡谷田部町 観音台3丁目1-1	02975(6)8148
◇ 農業研究センター	◇	◇	02975(6)8481
◇ 農業生物資源研究所	◇	◇ 2丁目1-2	02975(6)7406
◇ 熱帯農業研究センター	◇	◇	02975(6)6313
◇ 〃 沖 縄 支 所	907-01	沖縄県石垣市字真栄理1091	09808(2)2306
◇ 東北農業試験場	020-01	盛岡市下厨川字赤平4	0196(41)2145
◇ 同 栽培第一部	014-01	秋田県大曲市四ツ屋 字下古道3	01876(6)1221
◇ 中国農業試験場	721	福山市西深津町450	0849(23)4100
◇ 神戸植物防疫所	651	神戸市中央区小野浜町 1-4	078(331)1350
兵庫県淡路農業技術 センター	656-04	三原郡三原町八木養宣中 560-1	07994(2)4880
神戸市西農業協同組合	673	神戸市西区伊川谷町潤和 1058	078(974)2800
加西市農業協同組合	679-01	加西市玉野町1156-1	07904(7)1255
三田市	669-15	三田市加茂字角189-1	07956(7)1161
青森県りんご試験場	036-03	黒石市大字牡丹平字福民24	01725(2)2331
沖縄県農業試験場	903	那覇市崎山町4-222	0988(84)3415
有光工業株式会社	537	大阪市東成区深江北2丁目 3-21	06(976)8181
株式会社佐竹製作所 (生産本部)	724	広島県東広島市西条西本町 2-30	08242(3)3111

付一3

国別研修員参加実績表



国別研修員参加実績表

年度 国名	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	合計
バングラアシュ	1	1		1			1	1	1	1	1	1	1	10
インドネシア	2	1	2	2	2	2	2	2	1	2	1			19
クメール	1	1												2
ラオス	1	1	2											4
ネパール	1	1			1	1	1	1	1					7
フィリピン	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	2	19
タイ	1		1	1	2	1		1	2	2	2	1	1	15
ビルマ		1				1	1			1	1	1	1	7
インド		2		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
スリランカ		1	1	1	1	1	1	1	1			1	1	10
マレーシア				2	1	1		1	1			1	1	8
パキスタン								1	1					2
中国									1		1			2
アフガニスタン	1	1	1		1	1	1							6
イラン	1				1									2
エジプト										1	2	1	1	5
スーダン										1	1	1	1	4
リベリア				1								1	1	3
タンザニア				1			1		1	1				4
ケニア								1						1
ナイジェリア										1	1			2
ブラジル						1								1
パナマ											1	1	1	3
受入実数	10	12	9	12	12	11	10	11	12	12	13	12	12	148
累計	10	22	31	43	55	66	76	87	99	111	124	136	148	

